

お客様の成功事例

Ericsson: EDB Postgres® AI でメディアの未来 を切り拓く





顧客: Ericsson

Tapan ShatapathyHead of Content Management
Ericsson

EDB との協力により大きな成長を遂げたEricssonは、通信業界でのリーダーシップを維持しています。

概要

この通信業界の巨人は、72億人のスマートフォンユーザーのモバイルメディアニーズに応えるため、Oracle から Postgres への移行を果たしました。

メディア業界では、モバイルと動画がコンテンツの制作と消費を変革中で、2028 年にはモバイル動画がトラフィックの80%を占める見込みです。短尺から長尺、オンデマンドやユーザー生成まで、動画需要がモバイルデータ利用を急増させています。2029 年末には、スマホユーザー一人当たり月56GB消費の見込みです。消費者の需要がネットワークを超えた時、何が起こるのでしょうか?



従来の通信インフラでは、大規模なモバイル動画視聴に対応できず、2024 年末までにスマートフォン契約数は 72 億件に達する見込みです。ネットワーク過負荷で遅延や顧客不満、システム停止の危険も。高性能ネットワークはデジタル変革の基盤であり、新技術の展開には不可欠です。





動画やモバイルコンテンツの需要増加とイノベーションを推進するため、通信 ネットワークの基盤自体が一新されました。その結果、モバイル事業者はイン フラやネットワークを進化させるという大きな課題に直面し、変革を迫られる こととなりました。

Ericssonに注がれる数十億もの視線

Ericssonは、現代メディア業界で重要な役割を果たし、25 億人以上をつなぎ、世界のモバイル通信 40%を支えています。

通信業界の巨人Ericssonは、デジタル変革を推進し、顧客が求める高品質なパーソナライズ番組の提供を支援する使命を担っていました。

Ericssonの IT システムは増加するコンテンツを迅速に処理する必要がありましたが、従来のデータベースでは対応できず、ネットワーク混雑が発生し、ユーザー体験が損なわれる危険がありました。Ericssonの IT 責任者は、メディアバリューチェーンの課題に対応するため、コンテンツ管理システムの刷新が必要と認識していました。

サービスもコストも犠牲にせず、システムを一新

システムアップグレード計画中、Ericssonのチームは新たな課題に直面。レガシーシステムでは、容量拡大やトランザクション増加に高額なライセンスやメンテ費用がかかり、コストが嵩みます。 これが他の IT プロジェクトの予算に影響します。

Ericssonは予算を気にせずニーズに応える柔軟なテクノロジーを探していました。ビジネスでは、低遅延動画配信や高い処理能力が求められていました。

オープンソースと比べ、Oracle はカスタマイズや新技術との連携が不十分で、チームは不適切と判断しました。

Postgres は高トランザクションや複雑なクエリに最適で、チームはコストを抑えつつ EDB Postgres を選びました。EDB の Oracle 互換技術によりEricsson のデータチームは大規模なアプリの改修なしで、既存システムからの移行が可能 になりました。





POSTGRES /I EDB Postgres Al について © EnterpriseDB Corporation 2025. 無断転載を禁じます。

EBD がビジネスを変革し、イノベーションを生み出す力

Ericssonは EDB と協力し、旧来のデータベースシステムを EDB Postgres™ Advanced Server へと刷新しました。その成果として、新しく進化したEricssonのコンテンツ管理システムが世界中で展開されました。

この成果で業界が変革し、全画面管理プラットフォームが誕生。新 CMS 導入により、Ericssonのタイトル取り込み速度が 1 分間に 11 件と 2 倍に増加。1,000 万タイトルのライブラリで、顧客は迅速に作品を提供できます。

Ericsson の Tapan Shatapathy 氏は、「Ericsson はテレビ業界のコンテンツ運用をエンドツーエンドで管理するソリューションでトップを維持しています」と述べました。

EDB の成功を背景に、Ericssonは通信業界のリーダーとして君臨し続けています。EDB Postgres が成長を支え、2025 年には動画がインターネットトラフィックの82%を占める見込みです。5G やXR、VR など新技術でモバイル動画が拡大する中、Ericssonは未来のエンタメ提供を強化しています。

Ericssonは、テレビ業界のコンテンツ運用をトータルで管理できる企業向けソフトウェアを提供する分野で業界トップの地位を維持しています。

Tapan Shatapathy

Head of Content Management Ericsson